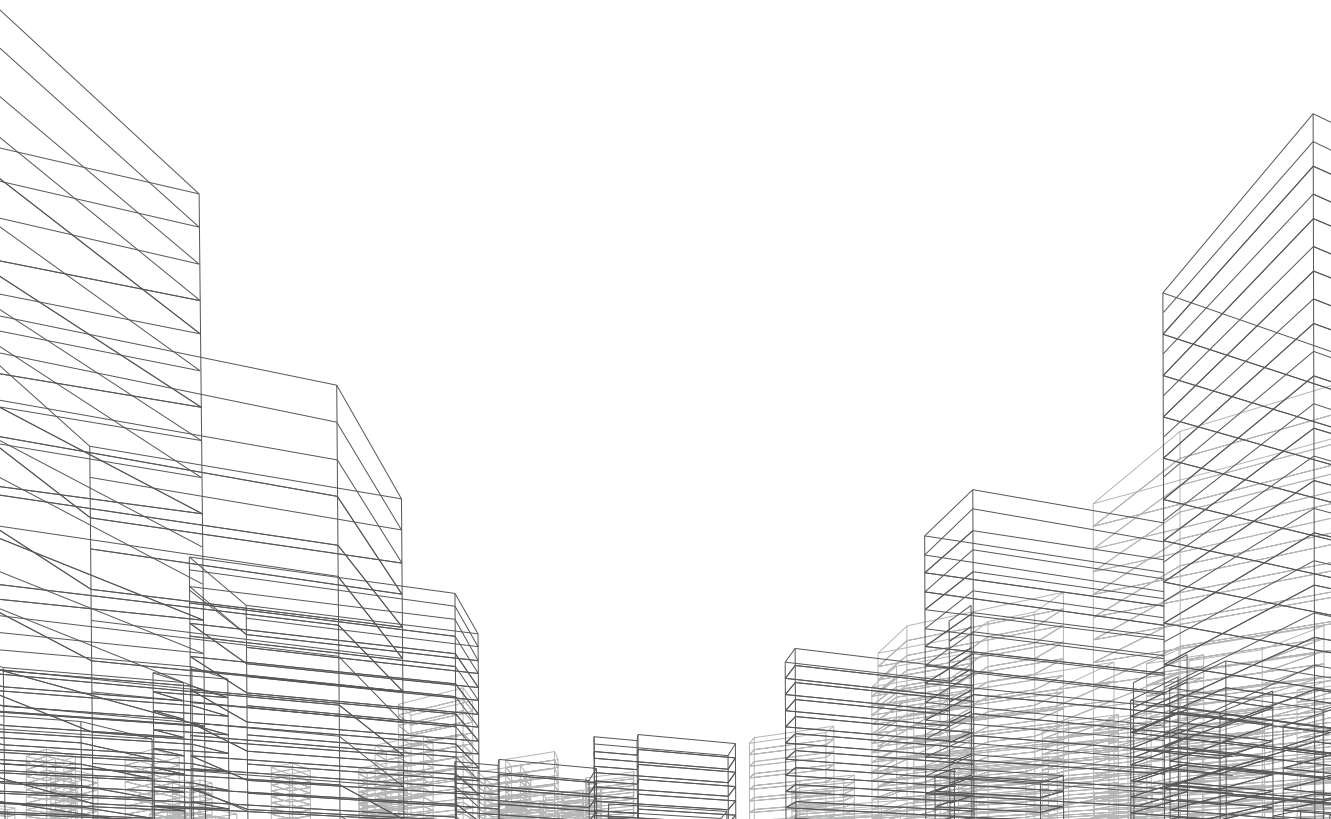




北京中日创新合作示范区
北京中日イノベーション協力モデル区
Beijing China-Japan Innovation & Cooperation Demonstration Zone

北京日中イノベーション協力モデル区 パンフレット



目次

Part 1. 北京日中イノベーション協力モデル区について

- ▶ 全体の概要 1
- ▶ 立地条件 3
- ▶ ワンストップ式先端技術開発支援体系 5
- ▶ 日本代表処の設立 7
- ▶ 政府による有力なサポート 9
- ▶ 3つのコア産業 11
- ▶ 特色のある施設 13
- ▶ 運営体制 15
- ▶ 金融面によるサポート 17
- ▶ 協力モデル区的生活環境 19

Part 2. 世界の先端技術開発を推進する協力モデル

- ▶ 将来の展望 21
 - ▶ モデル区イメージ図 23
-

> 国際的な協力を推進するモデル	25
> 「北京」から「世界」への発信	27
> 交通アクセス	29
> 協力運営体制	31

Part 3. 北京市の重点政策

> 企業誘致の仲介奨励に関する法規(暫定)	33
> 先端産業発展促進の法規(暫定)	35
> 水素産業の発展を促進する法規(暫定)	41
> 人材育成・優遇政策	43
> 外資企業登記の流れ	45
> 対外交流	47
> 連絡先	48



全体の概要

Q

北京日中イノベーション協力モデル区とは？

A

政府によって設立された、医療・ヘルスケア、先端テクノロジーなどの先端分野で、日中協力で科学技術の開発・発展・製造を目指す産業団地です。

理念

日中両国の政府・企業相互の強みを生かし、中国・日本・世界をリードしていく科学技術の開発を目指します。

目標

日中間の政府・企業・教育機関が協力して先端分野の開発・発展・製造を行う特別区を目指します。

先進性

国際的な発展性を見据えた新たな取り組みを目指します。特に知財の国際的な保護や活用について積極的に推進します。

中国の強み、日本の強みを生かして、WIN-WINの関係で世界をリードする先端科学技術の開発を目指します。

国際的な技術開発を目指す仕組み

先端分野でのインキュベーション機能により、国際的な技術開発を目指します。

新産業の開発・育成

日中両国で連携して、先端産業の育成を行います。新たな先端産業分野での起業に対する支援も行います。



政・産・学の連携

日中両国の政府や教育機関なども巻き込み、政・産・学が一体となって国際的な先端技術の開発を行います。



開発・育成環境の構築

政府と連携した起業のための支援や、発展のためのバックアップを実施します。特に知財保護には力を入れています。



金融支援

日中の金融機関や投資家との連携やPRを通して、スムーズな資金の融通や投資の実行をサポートしていきます。



立地条件

Q

北京日中イノベーション協力モデル区はどこにありますか？

A

大興区にあります。モデル区は北京市の中心と北京大興国際空港の中間地点に位置し、京台高速道路に面した南五環路と南六環路の間にあります。

京台高速道路に面した南五環路と南六環路の間に位置

20分 北京大興国際空港から

40分 故宮や日本大使館から

50分 北京副都心から

地下鉄8号線とS6号線の
合流地点



大興区の特徴

大興区は北京地域の産業の重点集積地の1つで、地理的に天津・河北地域の間におり、地域連携のハブとして益々の発展が期待されます。

- ▶ 北京大興国際空港が新設され、中国全土や世界と繋がっています。
- ▶ 北京から雄安新区への玄関口として位置しています。
- ▶ 天津・河北地域との連携のハブとなっています。





ワンストップ式先端技術開発支援体系

Q

北京日中イノベーション協力モデル区の施設などについて具体的に教えてください。

A

10km²の敷地に、大企業からベンチャー企業まで入居できるオフィス・研究開発・生産・生活施設などが集積した、ワンストップ型のモデル区です。

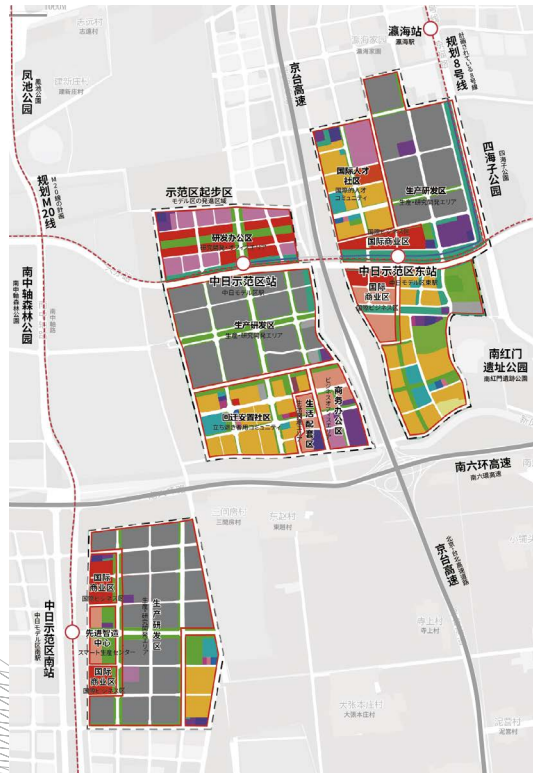
北京日中イノベーション協力モデル区

10km² モデル区全体の面積

3.85km² 日系企業の中国本部などの用途

180万m² ベンチャー企業のオフィスなどの用途

200万m² 研究開発・生産などの用途



ジャパンスタイルの労働・住環境

モデル区は道路を挟んだ両側に設立され、研究・開発エリア、生活・サービスエリア、生産・製造エリアを備えています。

研究・開発エリア

先端技術開発のための充実した施設を設置。



生活・サービスエリア

日本と変わらない環境で過ごせる。



生産・製造エリア

企業の生産活動を強くサポート。





日本代表処の設立

Q

モデル区の日本との交流や往来はどうなっていますか？

A

日本代表処を設立して、日中間のスムーズな連携を目指しています。

日中間の協力プロジェクトとして機能するように、日本に代表処を設立して連携を強化していきます。また、東京にも日中協力産業団地を設立し、中国・日本両国での先端技術開発をバックアップして行きます。



園田小林特許業務法人との打ち合わせ

東京代表処の設立

東京に代表処を設立して日中間の連絡を密にするとともに、北京大興国際空港と東京、大阪との直行便の就航を目指し、アクセスしやすい体制を構築します。



東京代表処連絡先:

住所: 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-18-13

電話番号: 0081 - 90 2300 8629

モデル区専用の知財機関を併設

日中での先端技術開発の際に特に重視しているのが知財の保護・活用です。イノベーションモデル区では、北京市高級人民法院が専用の巡回法廷を設置したり、日本の園田小林特許業務法人と連携したりなど、知財の保護と活用を最重点事項として推進します。





政府による有力なサポート

Q

協力モデル区の政府のバックアップ体制はどのようなになっていますか？

A

2020年に国家発展改革委員会から設立を許可された全国初のイノベーション・協力モデル区です。そこから様々な政府のサポートを受けられます。

中国や日本がRCEPの参加により、日中の経済往来がより密接に結びつくことを背景に、日中で協力してアジア地域を中心にした国際的な枠組みの中で先端産業を育成・発展させることを目的としています。

国家発展改革委員会による設立許可

中華人民共和国国家発展改革委員会より、北京日中イノベーション協力モデル区の設立に関する正式な許可。

国際基準の産業育成モデルを構築

様々な政策のサポートを受け、先端産業を育成し、国際的な産業育成モデルを構築していきます。

多層的な政策支援

- ▶ 様々な政府の産業政策を適用し、先端技術の開発を支援します。
- ▶ 北京のサービス業開放のモデル区として、試験的な試みも実施します。
- ▶ 国家級北京経済開発モデル区政策の適用。
- ▶ 中関村国家自主協力モデル区政策の適用。

国際レベルのビジネス環境を構築

- ▶ 国際基準の研究・開発環境を備えます。
- ▶ 知的財産権を保護・活用します。
- ▶ 規制緩和による産業の育成を行います。
- ▶ 貿易手続きの利便性を高めます。
- ▶ 為替管理の最適化を行います。
- ▶ 高等教育機関などとも連携し、高度人材の育成も行います。



3つのコア産業



協力モデル区では具体的にはどのような先端技術を育成していくのですか？






医療・ヘルスケア、先端テクノロジー、デジタル経済の3つの産業を中心に、世界的に市場の拡大が期待される先端分野を育成していきます。

協力モデル区では医療・ヘルスケア、先端テクノロジー、デジタル経済の3つの産業を中心にしたコア技術を育成し、モデル区から世界的にリードする技術を開発していきます。

医療・ヘルスケア

バイオ技術を使った生物・医薬開発や、AIやIoTを組み合わせた医療機器、ユーザビリティの高いヘルスケア製品などの開発を目指します。

分野

-  生物・医薬
-  医療機器
-  ヘルスケア(特に高齢者ケア)




目標

- ▶ バイオ医薬品産業の**集積**
- ▶ 高性能な医療機器の**開発**
- ▶ ハイエンド機器の**生産**
- ▶ サプライチェーンの**構築**




スマートものづくり

センサー技術やそのコントロール技術、精密機器、それを生産するための素材まで、総合的なスマートものづくりの開発を目指します。

分野

-  スマートセンサー・制御装置
-  精密機器
-  先端素材

目標

-  日本の精密機器メーカーの誘致
-  先端素材メーカーの誘致
-  技術特化型企業の誘致・育成

デジタル経済

分野

-  5G通信
-  IoT・ICT
-  クラウド
-  EC

目標

- ▶ スマートシティの国際モデル構築
- ▶ デジタルエコノミーの発展



特色のある施設

Q

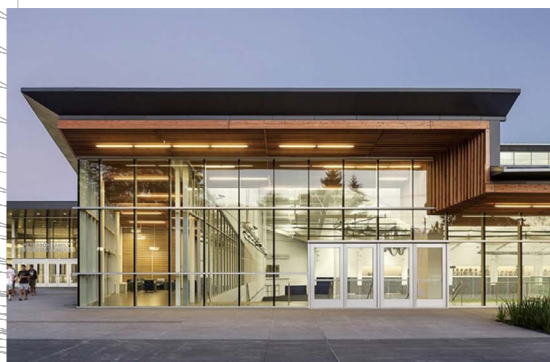
先端技術の具体的な開発・PRをサポートする施設などがありますか？

A

展示場やレアアース・半導体・次世代バッテリーの開発センターを併設しています。
また、協力モデル区自体をスマートシティのモデルとして活用します。

開発センター・展示ホール

モデル区会議室・日中製品展示/取引ホール・国際企業サービスホールなどの会議場・展示場と、レアアース・半導体・次世代バッテリーの開発センターを併設し、日中企業の技術開発のサポートやPRをサポートします。



水素エネルギーモデル区

モデル区では「水素エネルギー」の利用を中心にしたスマートシティモデルを建設します。

日本における先進的な水素エネルギーの活用技術と中国華北地区の水素供給源・リソースとの融合によって、中国、日本、世界での水素エネルギー事業の発展をリードしていきます。

水素エネルギーをリードする体制

3つのメリット

日本の技術、大興区の生産能力、
華北地区での低コストな水素の供給源

3つの専用施設

水素ステーション、体験展示場、
サイエンスパーク

4つのサポート

金融サポート、企業間の事務、
政策サポート、人材育成





運営体制

Q

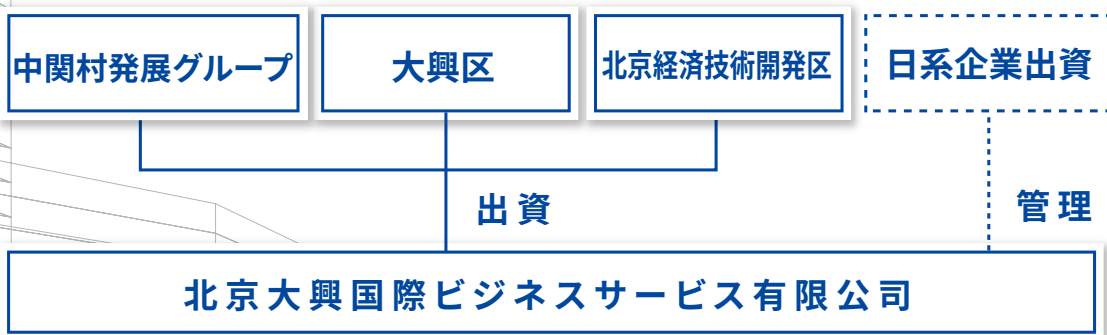
モデル区の運営体制について教えてください。

A

当区は「北京市大興区」、「中関村発展グループ」、「北京経済技術開発区」が共同で出資した「北京大興国際ビジネスサービス有限公司」が開発・運営を行います。また、専門家による諮問委員会も設置し、政・産・学の連携によって、先端的な技術を開発するモデル区を目指します。

モデル区の運営体制

各関連機関が出資してモデル区を運営する「北京大興国際ビジネスサービス有限公司」を設立し、入居企業に対する様々なサービスをワンストップで提供していきます。



専門委員会によるサポート

日中の政治、企業、教育機関の代表からなる専門家による諮問委員会によって、包括的にモデル区の開発をサポートしていきます。





金融面によるサポート

Q

モデル区に資金支援を行うファンドなどありますか？

A

初期に20億元規模のファンド運用を行うファンド運営会社を設立しています。また、2億米ドルを上限にしたQDLP（適格国内有限責任組合）を通じた海外市場への投資も支援します。

ファンドの構成

中国国有企業構造調整ファンド、日中イノベーション協力モデル区、混合所有制改革ファンドの三つ組織が出資して、産業育成のためのファンドを組成します。ファンドの運営企業として「誠興国際」を設立し、初期20億元規模の資金を運用します。

中国国有企業構造調整ファンド

先端産業ファンド

混合所有制改革ファンド



中国国際産業创新发展ファンド

初期**20億元**、運営会社「**誠興国際**」
2億米ドルを上限にしたQDLPを通じた海外市場への投資

経営のワンストップサービス

モデル区内で、企業登録、税務申告などの政府機関、銀行ファンドなどの金融サービス、人材採用・人材研修などの人事サービスやその支援機関を備えており、モデル区内で企業経営をワンストップでサポートします。

政府機関

企業登録、税務申告、各種許可申請などの政府機関を設け、モデル区内で各種申請が完了する体制を整えます。



金融サービス

ファンドや各銀行の窓口を設置し、資金調達、為替取引などを円滑に実施することができます。



人事サービス

人材採用・人材研修などの機関を設け、先端技術開発に適した人材の採用や能力の開発を後押しします。





協力モデル区的生活環境

Q

モデル区的生活環境はどのようになっていますか？

A

各公園や農地に囲まれた緑豊かな環境です。一方、国際協力開発を目的に設立された地区のため、日本と変わらないような労働・生活の利便性を目指しています。

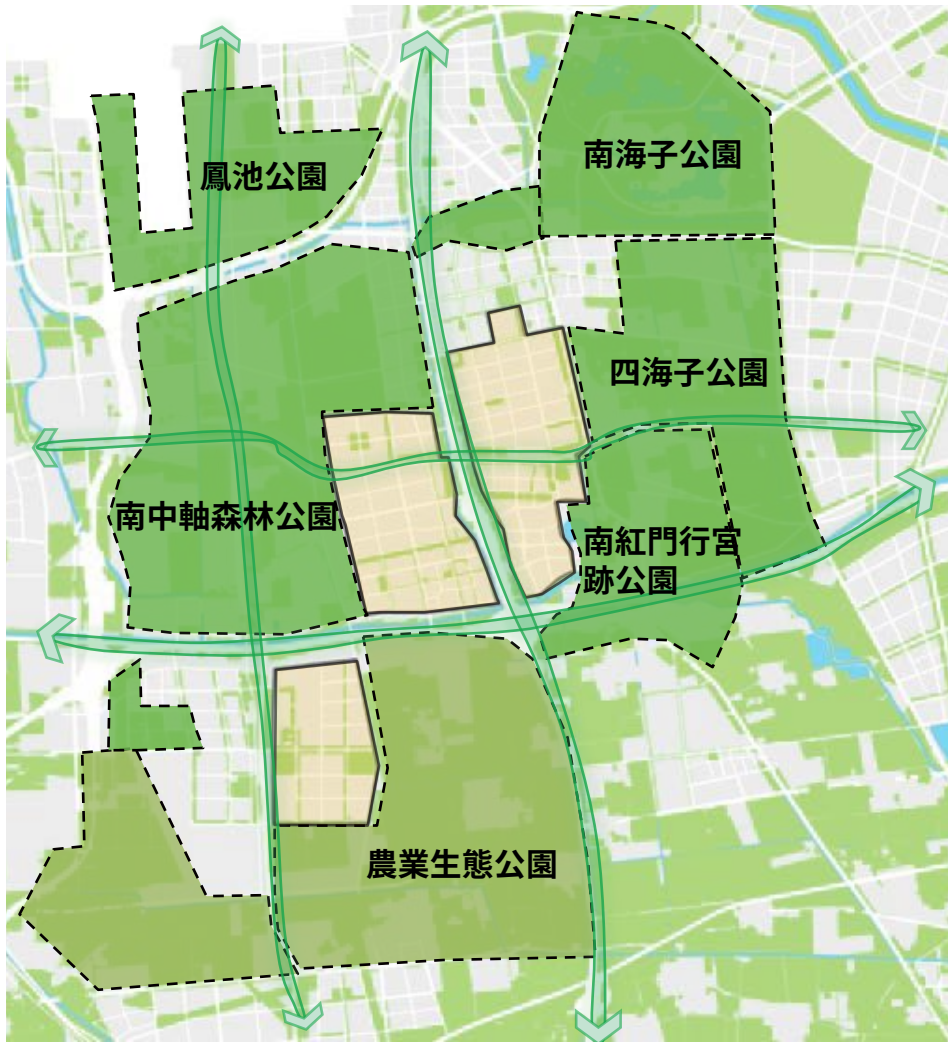
日本と変わらない労働・住環境

日本と変わらないような国際的な労働・住環境を目指し、モデル区的设计は日本人の習慣に合わせたデザインや使い勝手となっています。



緑に囲まれた生活環境

モデル区は「南中軸森林公園」「南海子公園」「農業生態空間」など総計約2万ムー(約13.3km²)の緑地に囲まれており、緑豊かな環境で研究開発を行うことができます。





将来の展望

Q

今後3年間のモデル区の展望を教えてください。

A

当区は北京市大興区が主導する日中協力産業発展プロジェクトです。主に日中間における産業発展の交流の一層の促進を目指します。そして、日中両国において友好交流の舞台になるよう発展させたいです。



日中交流のハブ

- ▶ 日中両国において各級政府の企画・自治体などの交流機会の促進
- ▶ 大興国際空港と東京・大阪の直行便の開設
- ▶ 国際物流企業・航空会社の誘致



日中協力モデルの構築

- ▶ 国家プロジェクト研究センターなど、協力研究施設の開設。
- ▶ 日中知財サービス機関の誘致 (少なくとも5社)
- ▶ 日中イノベーション・創業大会の開催



先端産業の育成

- ▶ 20社の先端日本企業の誘致
- ▶ 10社の日系銀行と保険機関の誘致
- ▶ 3社以上の産業ファンド誘致



北京の改革・開放のモデル区

- ▶ 行政機関の窓口や企業サービスセンターを設置
- ▶ スマートシティ管理センターを構築
- ▶ インターナショナルスクール・医院を誘致



モデル区イメージ図

前期開発エリア

開放的で労働・居住しやすく、緑と調和した環境。



研究開発・本部エリア

研究開発と各企業の中国本部が集結。



生活サービスエリア

国際人材の交流を促し、ビジネスサポート・医療・教育・施設の整備などを行う。



生産・製造エリア

先端産業の生産・製造施設が集積。





国際的な協力を推進するモデル

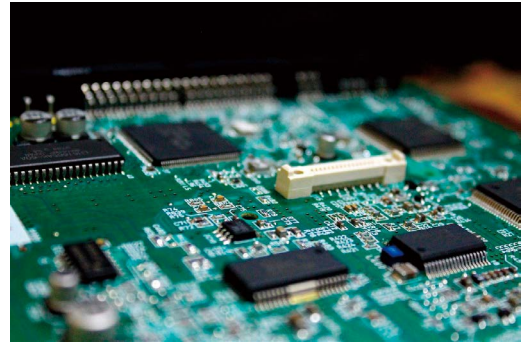
国際的な協力による新たなイノベーション開発や首都開発のモデルを作り、先端産業を育成していく。

国際的な
協力によって
新たな産業を
創り出す



イノベーション
協力発展の
新たなモデル





先端産業の
新たな集積地

首都開発モデルの
「発信地」





「北京」から「世界」への発信





世界10大金融センター

世界10大テクノロジー・イノベーションセンター

世界で「ユニコーン企業」が最も集中するエリア

世界500强企业の数が7年連続最多記録を更新

中国の80%のエンジェル投資家と1/3の機関投資家が集中

北京大興国際空港、北京首都国際空港の2つの国際空港が利用可能



交通アクセス





国際空港



軌道S6号線

天安門まで18km

在中国日本大使館まで30km

副都心・通州まで約30km

雄安新区まで55km

大興国際空港まで20km

地下鉄8号線南延線と
軌道S6号線の合流地点

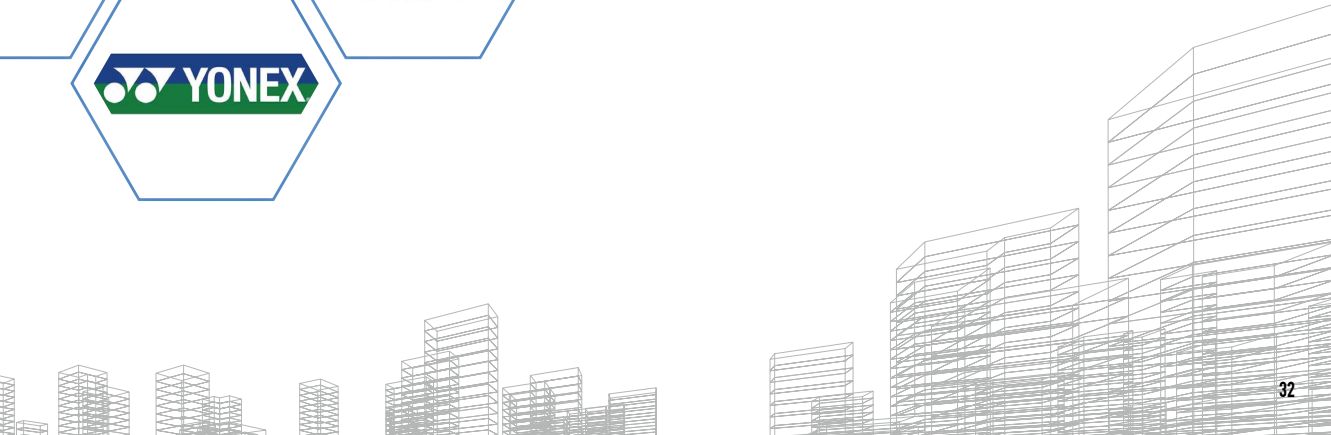




協力運営体制

日中間の代表的な先端企業だけでなく、政府機関・教育機関・研究機関まで巻き込んで、政・産・学が一体となったモデル区の運営を行います。





企業誘致の仲介奨励に関する法規(暫定)

大興区の産業誘致を促進するために、有力企業を大興区に誘致した仲介会社には「経済貢献」「発展貢献」「突出貢献」の3項目の助成金を用意しています。

(詳細は2021年5月17日北京市大興区人民政府批准の「大興区促進仲介機構招商引資奨励暫行弁法(試行)」をご確認ください。また、助成金支給は有力産業の誘致に限ります。本助成金対象外の業種は北京市批准の「北京市新增産業的禁止和限制目録」をご確認ください。)



経済貢献



発展貢献



突出貢献

1. 経済貢献

入居3年以内の紹介企業が、任意の1年で区域経済貢献額が100万元突破した場合は、財政部門の審査後に1,000万元を上限として貢献額の10%を仲介会社に支給します。

区域経済
貢献額
10%

> 100万元

2. 発展貢献

入居3年以内の紹介企業が、固定資産投資が経済貢献額が5,000万元を突破した場合は、1,000万元を上限として、固定資産投資額の3%を仲介会社に支払います。

また、入居3年以内の紹介企業が、建設用地や商業用地を1億元以上で取得した場合は、紹介企業が費用払い込みの後、1,000万元を上限として、取得金額の3%を仲介会社に支給します。



*上記は1,000万元を上限に、重複して申請できます。また、経済貢献助成と固定資産投資助成を同時に受給することはできません。

3. 突出貢献

世界500強企業やユニコーン企業、外資企業などを誘致した場合、下記の助成金を支給します。

重点企業奨励

世界500強企業	100万元
中央級・中国500強企業	80万元
ユニコーン企業	60万元
有力ベンチャー企業	40万元

*上記から1つ選択

外資・北京外企業

外資企業	50万元
北京外企業	30万元

*上記から1つ選択



先端産業発展促進の法規(暫定)1

北京市大興区の指定している先端産業区では様々な助成金や優遇政策を実施しています。

モデル区でも入居企業の皆様が様々な助成金を得られるようにサポートをして参ります。

(助成金の詳細は2020年8月14日北京市大興区人民政府批准の「大興区促進高精尖産業発展暫行弁法」をご確認ください。)

助成金支給の流れ



1. 新たに入居した優秀企業への助成金

新たに大興区に登録した企業で、3年以内に区域貢献額が1,000万元に達した場合は、前年度総合貢献額の40%について3年連続で助成金を支給します。



2. 先端開発企業への賃料補助

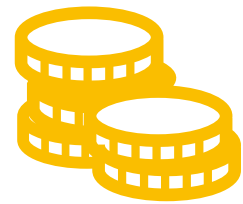
認定区域内のクリエイティブセンター、ベンチャー組織、インキュベーション組織、標準工場で、500㎡以上の賃貸をしている企業に、前年度の賃料の50%を、3年以内の期間に渡って補助します。



500㎡以上の面積の
工場、研究所、オフィス



前年度の支払い
賃料の50%



3年間賃料を
補助

3. 優秀企業への助成金

区内貢献企業10位以内の企業に、毎年、総合貢献額の10%、1,000万元を上限とした助成金を支給します。



前年度のモデル区貢献が
10位以内の企業



前年度のモデル区総合貢献
額の10%、1,000万元を上限
とした助成金



先端産業発展促進の法規(暫定)2

4. 成長企業への助成金

前年度の区への貢献が1,000万元以上で、区内で年間成長率20%の企業に対して、成長額の50%、500万元を上限に助成金を支給します。

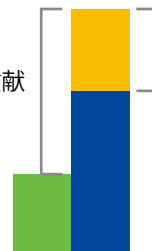
前年度のモデル区への
貢献が1,000万元以上



成長率が20%以上の
企業



モデル区貢献
増加額



増加部分の50%が
奨励金

前々年度 前年度

前年度モデル区貢献増加額の50%、
500万元以内の助成金

5. すべての企業への助成金

「大興区“先端”企業指数」を達成した企業に対して、区内貢献総額の10%、1,000万元を上限に助成金を支給します。

(助成金は前年の区内総合貢献額の範囲内です。)



区内企業税收総額

区内建設用地面積



15億元
(1km²当たり)

6. 重点認証取得の助成金

先端企業の重点認証を取得した場合、国家級認証取得で200万元、市級国家認証取得で100万元の助成金を支給します。

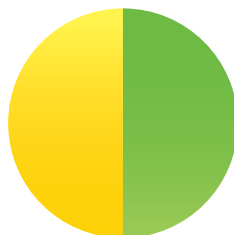
助成金の支給対象となる認証

認証名	国家級認定機関	市級認定機関
重点実験室	科学技術部	北京市科学技術委員会
工程研究センター 国家級企業技術中心	国家発展改革委員会	北京市発展改革委員会
製造業クリエイティブセンター 国家級工業設計センター	工業情報化部	
産業クリエイティブセンター 北京市企業技術センター 北京市先端産業設計センター		北京市経済情報化局

7. 国家級、市級助成金を獲得した企業への助成金

前年度に取得した国家級・市級の助成金を取得した先端企業に対して、同額の助成金を支給します。

国家級・市級の
助成金



モデル区の
助成金

1 : 1



先端産業発展促進の法規(暫定)3

8. 利息の補助

300万元以上の融資を受けている先端企業は、同期間の中国人民銀行貸出基準利率に応じて、3年以内、500万元以内で銀行利息や貸貸補償金利息の補助のサポートがあります。

もし既に市・区やその他部門の利息補助を受けていても、実際の発生銀行利息や貸貸補償金利息の総額を超えない範囲で、利息のサポートを受けられます。



300万元

前年度の融資や不動産融資項目が300万元以上の企業が対象

9. 新薬開発、医療機器の助成金

新薬か医療機器(三類医療機器に限る)の証書や生産批准を受けた先端企業には、5年以内で大興区で実際に研究開発に投入した総額の40%、1,000万元を上限とした助成金を支給します。



1,000万元

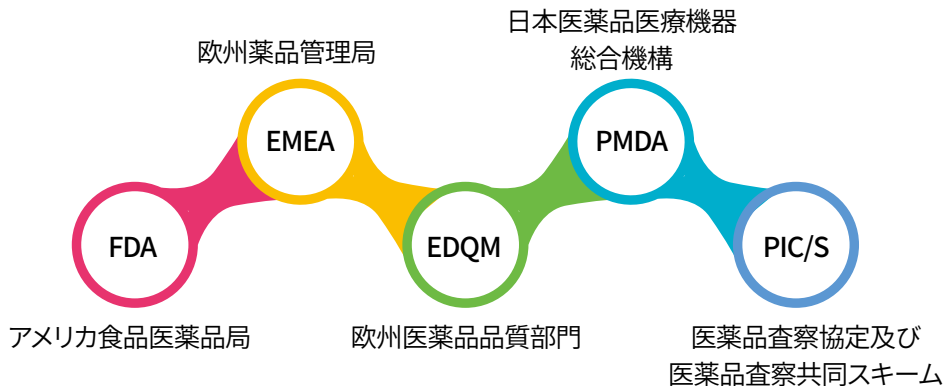
5年以内で大興区内で実際に研究開発に投入した総額の40%

1,000万元以内の助成金を支給

10. 新薬・医療機器の国際登録・認証の助成金

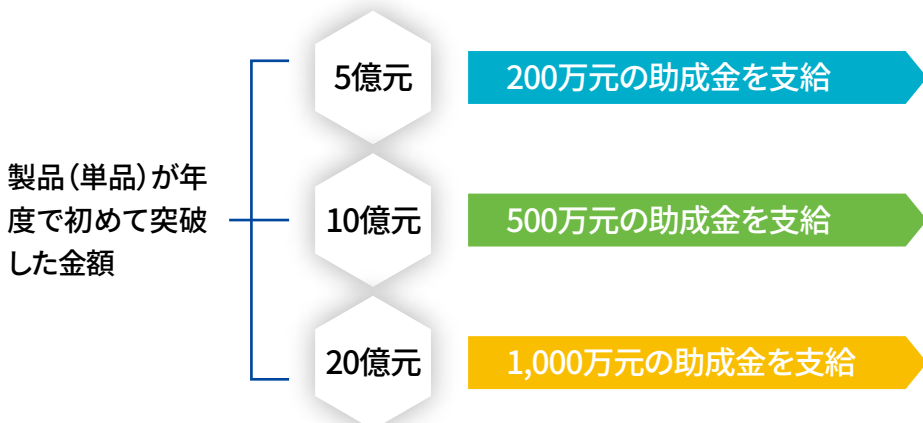
FDA、EMA、EDQM、PMDA、PIC/Sなどの国際認証機関への登録・認証をする先端企業に対し、医薬品や医療機器（三類医療機器に限る）開発の先端企業に支出費用の30%を支給します。

（医薬品は500万元が上限、医療機器は200万元が上限。）



11. 医薬・ヘルスケア企業の製品販売サポートの助成金

医薬・ヘルスケア企業の単品製品販売について、「5億元」、「10億元」、「20億元」の各売上を突破した際に助成金が支給されます。





水素産業の発展を促進する法規(暫定)

大興区の水素燃料産業発展を促進するために、水素燃料関係のビジネスを展開する企業を助成します。

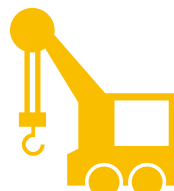
詳細は2022年3月 31日北京市大興区人民政府が施行する「大興区は水素産業の発展を促進する暫行弁法2022年改訂版」をご確認ください。



基本補助



研究開発補助



有力企業への補助

1. 基本補助

水素燃料関連の企業には、以下の各種助成を行います。

1. 企業進出

(登記してから3年以内、プラス成長を実現する企業を対象し)

3年間連続で最高1000万元を助成します

2. 賃貸補助

賃貸面積 2 000m²を超えない、契約日より連続3年間で賃料全額補助

2000m²を超える場合、超えた部分の50%を補助、最大500万元まで助成します

3. 研究補助

科学成果の産業化に対し、研究開発と生産設備の購入総額は1000万元を超える場合、購入総額の20%を補助

最大2000万元まで助成します

* 製品が国家燃料電池自動車モデルシティグループのコア部品カタログに登録された生産開発企業に対して、中央省庁による奨励金の30%に補助します

2. 研究開発補助

水素燃料関連の企業には、研究開発に関して以下の助成を行います。

1. イノベーションプラットフォーム	前年度で初回に国レベルイノベーションセンター、重点実験室、工程センターなどの資質を受けた企業に対し1000万元を奨励します。
2. 重大プロジェクト	重大科学技術プロジェクトまたは国家自然科学ファンドプロジェクトを完成し、自ら投入資金の30%を補助、最大100万元まで助成します。
3. 業界基準	水素エネルギー産業の発展に関する国際基準、国家基準、業界(または団体、地方、軍用)基準の編制を主導し、発表し、地域経済の発展を促進する企業又は組織に対して、それぞれ100万元、50万元、20万元を助成します。
4. 融資サポート	前年度において、生産、研究開発など経営活動のため融資をした場合、融資利息を補助します。

3. 有力企業への補助

1. 企業間の協同発展	川上、川下産業の発展に対する前年度に部品調達累計額が1,000万元以上に達し、2022年、2023年、2024年、2025年にそれぞれ審査された年間調達金額の5%、5%、3%、3%に基づいて1,000万元を上限に助成します。
2. コア部品補助	燃料電池など重要な部品を購入し、年間累計1000万元以上の場合、購入総額の5%を補助、年間最大1,000万元まで補助します。
3.	企業は燃料電池自動車モデルシティグループプロジェクト期間内で燃料電池自動車を購入する場合、それぞれ認定区分によって、購入金額の40%、30%、20%、10%を補助します。

人材育成・優遇政策

1. 人材育成政策

大興区に人材を誘致するために「優秀人材(領軍人材)」制度を設け、優秀人材の雇用を促進するための助成やサポートを行います。

(詳細は北京市大興区人民政府批准の「大興区“新国門”領軍人材和団体支持弁法」をご確認ください。)

1. 人材雇用政策

人材雇用助成金	
先進技術の科学技術者、企業家、 産業投資家など	世界500強企業、国内外上場企業、 ユニコーン企業などのハイレベル人材
著名医師、文化人など	ハイレベル技術者など
その他関連助成金	
賃料補助・資本投資	奨励資金

2. 成果報酬政策

助成金		
研究開発の権利移転	海外市場の開拓	先進人材の招聘

上記に加え、生活資金補助や、国際移動や、住居、面接、子供の教育など生活関連もサポート

2. 人材優遇政策

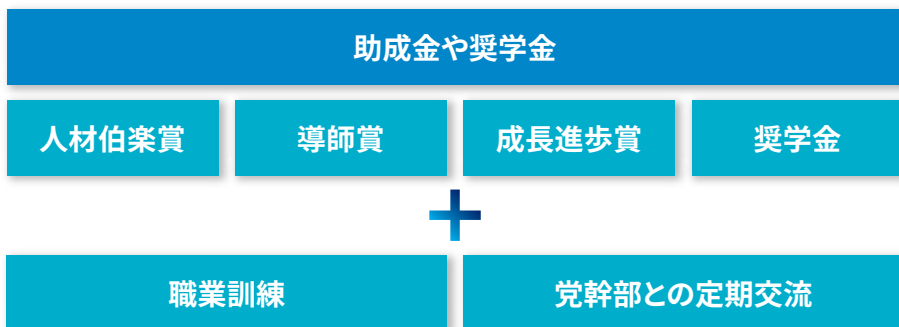
大興区の若手人材の育成を促進し地区に惹きつけるために、40歳以下の「経営管理」や「科学技術人材」などに対して各種助成やサポートを行います。

(詳細は北京市大興区人民政府批准の「大興区優秀青年人材育成支持弁法」をご確認ください。)

1. 基本スキーム



2. 人材誘致と成長政策



3. 創新・創業サポート政策



上記に加え、住居、面接、子供の教育など生活関連もサポート



外資企業登記の流れ

1. 申請名称の事前承認



2. 事前審査 (環境、安全、消防、衛生等)



3. 定款の制作、関連決議、企業住所証明の準備



4. 外経主管部門批准



5. 工商局登録登記、営業許可証の申請



6. 営業許可証取得後に法人印申請



7. 税務登記証申請

北京市市場監督管理局公式サイト

(<http://scjgj.beijing.gov.cn/>)

外資企業登録お問い合わせ

0086-1081299489 または
0086-1081299342



政府指導者による視察



▲ 北京市委副書記、市長陳吉寧



▲ 北京市委員会常務委員、常務副市長崔述強



▲ 北京市委員会常務委員、副市長殷勇



▲ 北京市副市長楊晋柏



▲ 国家發展改革委員会及び外交部指導者



▲ 大興区委、区政府指導者



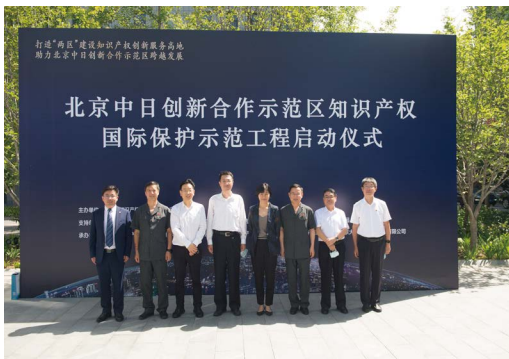
対外交流



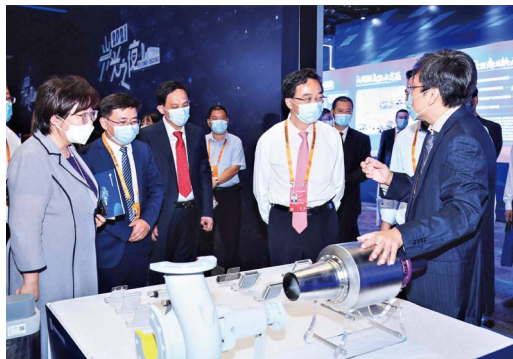
▲ 2021中日イノベーション発展大会



▲ 2021グローバルデジタル経済大会
先進製造フォーラム



▲ 知的財産国際保護示範工程始動式



▲ 2021中国国際サービス貿易交易会



▲ 第17回「北京—東京フォーラム」



▲ 日系企業代表団一行視察



連絡先

北京日中イノベーション協力モデル区

〒100162 北京市大興区金盛大街2号院5号楼

TEL : 0086 -10 6928 8800

E-mail : dxgj@bjdx.gov.cn

Beijing China-Japan Innovation Cooperation
Demonstration Zone

100162 Building No,5, Yard 2,
Jinsheng Street, Daxing District, Beijing

TEL : 0086 -10 6928 8800

E-mail : dxgj@bjdx.gov.cn

お問い合わせ:

张蕾 0086-13810169369

馮剛 0086-13011019250 (日本語可)

喬楚薇 0086-18810562674 (日本語可)

Wechat公式アカウント

